ビッグネイキッドで遊びまくる 第24回

R/R Factory! KAWASAKI ZRX1200DAEG

ストライカーのデモ車に注目!

Photo：柴田直行　Text：中村友彦

今月はいつもとはちょっと趣向を変えて、ストライカーのデモ車を紹介。加えて同店代表の新辰郎さんに、DAEGを含めたZRX1100／1200シリーズの印象を聞いてみることにした。

ガンメタ×レッドのカラーリングはストライカーオリジナル。純正にもこういう地味派手系の色があればいいのに

ショップのダエグへの期待ってどんな感じ?

新さんがゼファー1100でレースを戦っていることもあって（5月のTOTではモンEVOクラス初優勝!）、近年はゼファー・イメージが強いストライカー。とはいえ同店にとってはDAEGを含めたZRXシリーズも重要な機種であるようだ。

「先に断っておきますけど、ウチの取り扱い車種はメーカーや排気量を問わずで、カワサキ専門というわけでもないんですよ（笑）。でもまあ、ここ数年はゼファー750／1100がひとつの柱になっていて、全国からカスタム依頼をいただいていますが……。ゼファーはすでに生産が終わって、最近は中古車価格が高騰していますからね。今は次の柱として、ZRXシリーズを考えているところです」（新さん。以下同）

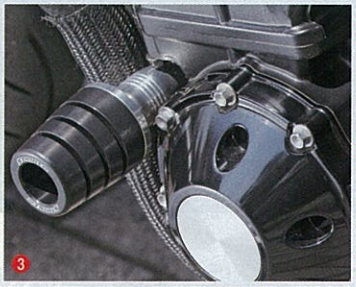
今回撮影したデモ車のDAEGは、現時点ではカラーリング変更とボルトオンパーツを主体としたモディファイしか行われていないものの、同店では過去に多彩なZRX1100／1200カスタムを手がけている。

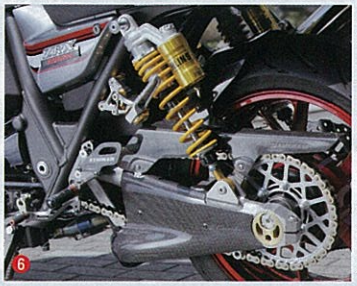
「ZRXシリーズを次の柱と考えるようになった背景には、ウチのオリジナルパーツがコンスタントに売れているからという事情もあります。でもそれ以上に重要なのは、やっぱりカスタムの素材として高い魅力を持っていることでしょう。いじったらいじっただけの見返りがきっちり味わえるという点はゼファーと同様ですけど、基本設計が新しいぶん、潜在能力はZRXのほうがはるかに高い。もちろん、単に動力性能で言うならニンジャ1000やZX-10Rのほうが上ですが、ZRXシリーズにはカワサキならではの懐の深さ、オーナーの好みに合わせて仕上げていく楽しみがあるんですよね」

冒頭で述べたように、現在はゼファー1100でレースを戦っている新さんだが、今後はZRXを用いてのTOT参戦も検討中。もちろんそれが実現した際には、ZRX1100ス／1200シリーズの魅力を引き出すさまざまなパーツが、ストライカーから発売されるはずだ。

ZRXとはまったく関係ないのだが、取材当日はライテクに関する話もいろいろと聞かせてもらえた。写真はゼファーレーサーを使ってコーナリングの基本を教えてもらっているところで、マシンに跨っているのが新さん。その説明は実にわかりやすく、やっぱり全日本選手権やAMAで活躍したライダーはすごいなあと改めて思った。新さんとしてはこの種の質問は、いつでも大歓迎とのことである

自社製を含めたアフターパーツで進化中のストライカーDAEG





❶低めのハンドルとアルミ製バーエンドはポッシュ製。ラジアルポンプ式のブレーキ／クラッチマスターはブレンボだ
❷スモーク仕様のスクリーンはMRAで、ヘッドライトは同店オリジナルのHID式。バラストやイグナイターはかなりコンパクトな設計で、これらをシート下に設置した状態でも、十分な収納スペースが確保することができる。2万8500円
❸スリット入りのガードスライダーは、激しい転倒時には本体が壊れる設計となっている（スライダーが丈夫すぎると、転倒時にエンジンやフレームにダメージが出る可能性がある）。1万1500円
❹4ポジション式バックステップの基本カラーはシルバーとブラックだが（5万1450円）、プラス1万5000円でカラーオーダーも受け付ける。削り出しのタンデムステップキット（3万3600円）やカーボン製リザーブタンクカバー（4200円）もストライカーのオリジナルパーツ
❺❻スイングアーム上部にはチェーンカバーと一体化されたリヤフェンダー（3万6750円）、下部にはアンダーアーマー（3万9900円）を装着。4-2-1式のオールチタンマフラーはもちろん同店製（20万4750円）で、リヤショックはオーリンズ、ドリブンスプロケットはXAMを選択する。前後タイヤはメッツラーZ8を履く

協力:カワサキモータースジャパン ☎0120-400819（お客様相談室） www.kawasaki-motors.com/
ストライカーシステムヨコハマ ☎045-914-8198 www.striker.co.jp/jpn/